

## メディアレピュテーション調査—全国 2000 人による情報源の信頼度評価 2 年連続で全体的に信頼度が低下 環境省、防衛省は急落、参議院、野党は少し上昇

ノルド社会環境研究所（本社：東京都中央区、代表取締役：久米谷弘光）は、発信主体別の情報の信頼度を評価するメディアレピュテーション調査を 2006 年、2007 年に引き続き、7 月中旬に実施いたしました。

本調査では、全国の 20 歳以上の男女個人 2,000 人（有効回収）を対象にマスメディア、政府・中央省庁、自治体、研究機関、企業、NGO・NPO など 35 の機関の情報信頼度を 5 段階評価で尋ね、その信頼度を平均スコア※で示しています。

※平均スコア：「大いに信頼できる」10 点、「まあ信頼できる」5 点、「どちらともいえない」0 点、「あまり信頼できない」-5 点、「信頼できない」-10 点として得点化した信頼度を示す平均スコア。

### ● 3 年連続で「日本経済新聞」がトップ、「与党」が最下位

35 機関の中で最も信頼度が高かったのは、昨年、一昨年と同様「日本経済新聞」です（図 1）。ただし、信頼度スコアは年々低下傾向にあるのも事実です（図 2）。

一方、「政党（与党）」は 3 年連続で最下位となっています。2006 年 9 月に小泉氏から安倍氏へ、そして 2007 年 9 月に福田氏へと総裁は代わっていますが、与党への信頼度スコアは低下し続けています。（図 2）

### ● 政治や中央省庁への不信が、社会全体の信頼度の低下を招く

一昨年、昨年、今年と年を追うごとに 35 機関の信頼度スコアの平均値などは低下傾向にあります（図 3）。いずれの年も、「与党」「国会（衆議院、参議院）」「厚生労働省」「防衛省」「財務省」「外務省」「農林水産省」「内閣府」などが下位を占め、政治や中央省庁への不信が、社会全体の信頼度の低下を招いていると言えそうです。

### ● 相対的に高い民間研究機関、大学の信頼度。国より身近な自治体を信頼。

「民間研究機関」「大学」の信頼度は、毎年高位に位置しています。今年初めて「民間研究機関」が大学を上回りました（図 2）。

「市区町村」、「都道府県」の信頼度は、「国・政府」を上回っています。中央省庁の中で最も高い「法務省」でも、自治体には及びません（図 1）。国よりも都道府県、都道府県よりも市区町村の信頼度が高いという結果は、昨年、一昨年の調査結果と同様です（図 2）。

### ● 「参議院」、「政党（野党）」が上昇、「環境省」、「防衛省」が急落

個別機関の信頼度スコアを前年と比較すると（表 1）、「政府（与党）」「衆議院」の低迷を尻目に、「参議院」「政党（野党）」の信頼度スコアは上がっています。また、「国土交通省」「テレビ（民放）」「ラジオ（民放）」も前年より上昇しています。

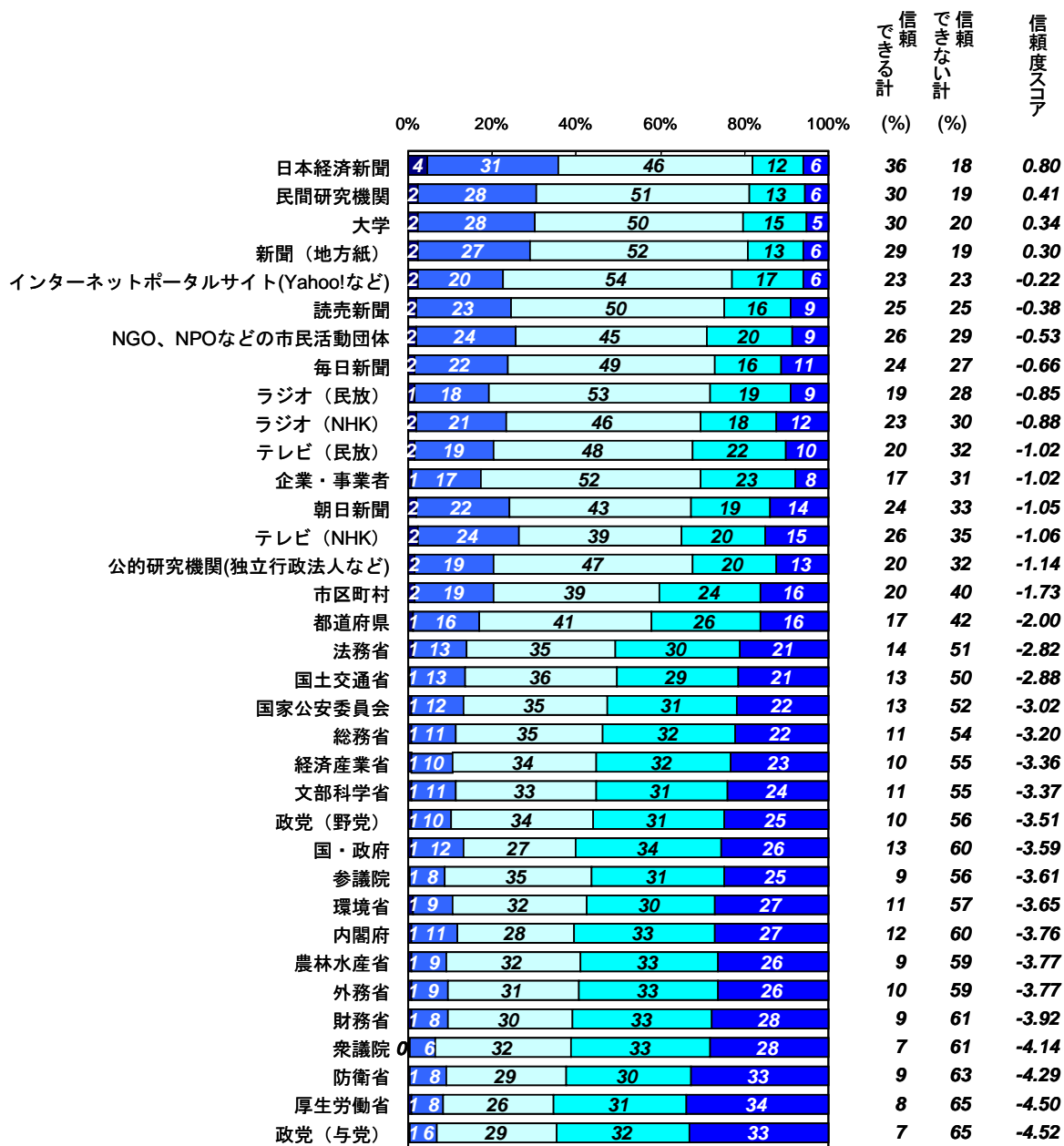
一方、「環境省」「防衛省」は大きな落ち込みとなっています。「環境省」の下落の原因は、環境偽装問題が多発した影響、洞爺湖サミットにおける期待感の高さの裏返しなどが想像されます。

「防衛省」は守屋元事務次官の汚職事件、海上自衛隊のイージス艦衝突事故の影響がうかがえます。

このリリースに関するお問い合わせ先：株式会社ノルド社会環境研究所  
東京都中央区京橋 1-9-10 フォレストタワー 電話 03-5524-7333 担当：小坂、久米谷  
ホームページ <http://www.nord-ise.com/>

図 1: 情報源の信頼度  
2008 年の順位・平均スコア [N=2,000]

問: 下記にあげるような機関やメディアの情報について、あなたはどの程度信頼していますか。



大いに信頼できる(+10)   
  まあ信頼できる(+5)   
  どちらともいえない(0)  
 あまり信頼できない(-5)   
  信頼できない(-10)

( )内は平均スコア算出に用いた得点

信頼できる計 = 「大いに信頼できる」 + 「まあ信頼できる」  
 信頼できない計 = 「あまり信頼できない」 + 「信頼できない」

図 2: 情報源の信頼度  
2006年～2008年の順位・平均スコアの変化

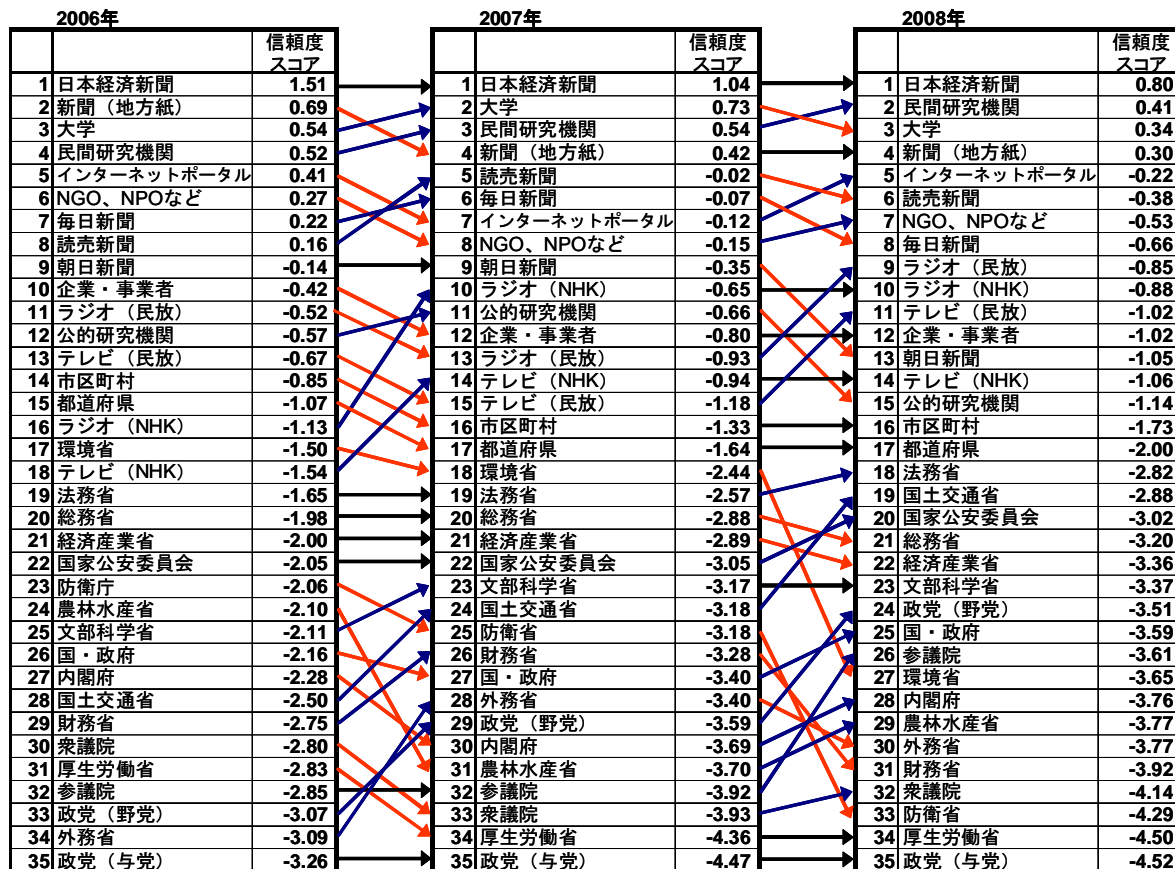
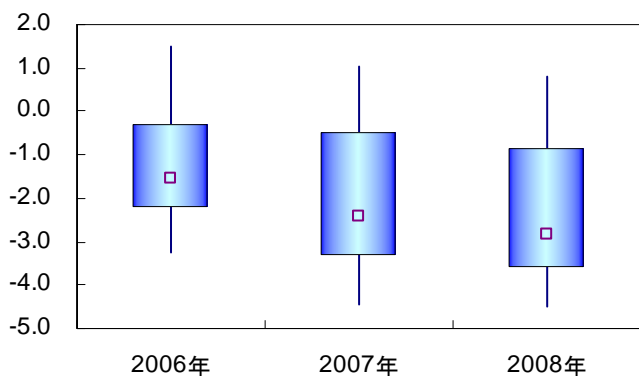


図 3: 信頼度の箱ひげ図と各統計量



	2006年	2007年	2008年
最大値	1.51	1.04	0.80
75%点	-0.28	-0.50	-0.86
中央値	-1.54	-2.44	-2.82
25%点	-2.22	-3.34	-3.63
最小値	-3.26	-4.47	-4.52
平均値	-1.30	-1.92	-2.18

箱ひげ図は、データの最大値と最小値（線分の両端）、25%点と75%（箱の両端）、中央値（箱の中の点）を利用します。中央値の位置により、データの対称性を判断することができます。2つの線分の中に4分の1ずつ、箱の中に半分のデータが入っています。箱の中は中央値を中心に、全体の4分の1ずつのデータが入っています。

2008年のヒストグラムと箱ひげ図

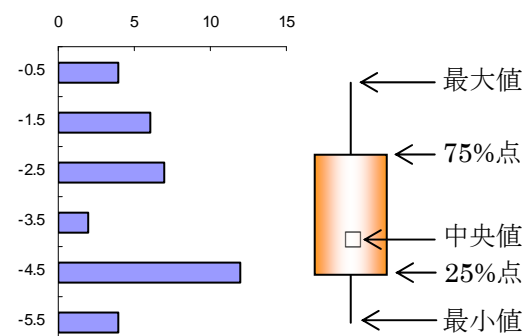


表 1: 信頼度スコア前年比上昇幅トップ 5、下落幅ワースト 5

	上昇幅トップ5	信頼度 前年比		下落幅ワースト5	信頼度 前年比
1	参議院	△ 0.32	1	環境省	▼ 1.21
2	国土交通省	△ 0.30	2	防衛省	▼ 1.10
3	テレビ（民放）	△ 0.17	3	朝日新聞	▼ 0.70
4	政党（野党）	△ 0.09	4	財務省	▼ 0.64
5	ラジオ（民放）	△ 0.08	5	毎日新聞	▼ 0.59

## 本調査の概要

本調査は、ノルド社会環境研究所の自主調査「社会環境に関するアンケート調査」の一環として行いました。その概要は以下の通りです。

調査対象：全国の 20 歳～59 歳の男女個人(インターネットユーザー)

調査方法：Web アンケート

サンプル抽出方法：生活者モニターからの無作為抽出（性・年齢・地域別の人口比に応じて抽出）

有効回収集計対象サンプル数：2000 サンプル

調査時期：2008 年 7 月 7 日～14 日

※2006 年、2007 年調査は、同様の方法で 2006 年 7 月、2007 年 7 月にそれぞれ実施しました。

株式会社ノルド社会環境研究所

“ピープルズシンクタンク”を理念とする独立系民間調査研究機関。社会環境政策、地域計画、マーケティング、CSR、広報・コミュニケーション分野の調査研究及びコンサルティングを行なっている。

このリリースに関するお問い合わせ先：株式会社ノルド社会環境研究所  
 東京都中央区京橋 1-9-10 フォレストタワー 電話 03-5524-7333 担当:小坂、久米谷  
 ホームページ <http://www.nord-ise.com/>